講習の名称:子どもが思考・表現する理科の授業づくり

担当講師:栗原 淳一(教育学部准教授)講習開講日:平成28年8月17日(水)

時間数:6時間

主な受講対象者:理科授業づくりに関心のある小教諭

理科を担当する中教諭

キーワード:授業改善、問題解決の過程、思考・表現、学びのストーリー、言語活動

講習の概要:

子どもが自ら問題を追究していけるにはどうすれば良いのか。子どもが科学的に思考し それを表現させるにはどうすればよいのか。言語活動をどう評価するのか。最新の研究成 果を踏まえつつ問題解決の過程を再検討し、子どもが思考・表現する授業デザインの方法 について学び合います。

講習の展開:

第1時限 問題解決の過程再考

第2時限 子どもの概念形成と学びのストーリー① 子どもの学びと授業

第3時限 子どもの概念形成と学びのストーリー② 推論 / 仮説形成

第4時限 言語活動の充実をどうとらえるか

受講に当たっての要件(講習内容のレベル):

自分の学校で使用している理科の教科書を持参してください (用意できない場合は結構です)

授業の形式:

講義形式 (可能であれば、一部グループワークを取り入れる)

履修認定試験:

論述形式の筆記試験 (ノート・配布資料の持込可)

講義を通して受講者が理科の授業づくりに関して、どのように考察を深めたのかを確認する。

テキスト・参考文献:

テキストは特にありません。当日にプリント・資料を配布する。